

はじめに

佐藤 勉

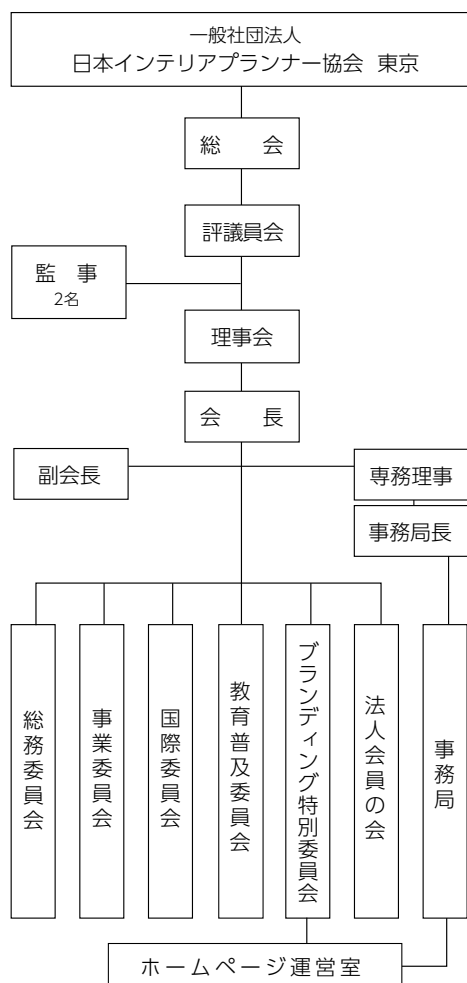
一般社団法人 日本インテリアプランナー協会 東京 会長



Contents 目次

はじめに・活動報告	2
JIPAT HISTORY 30年の歩み 前編	3-7
JIPAT HISTORY 30年の歩み 後編	8-10
JIPAT HISTORY 30年の歩み 年表	11
各種手続き・会員特典	12

協会組織図



一般社団法人 日本インテリアプランナー協会 東京
 〒141-0022
 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター 5F
 TEL:03-3446-8860 FAX:03-3446-1417
 E-Mail : office@jipat.gr.jp http://www.jipat.gr.jp

協会設立30周年を迎えました。昨年は協会名称も変わり、心機一転の想いです。他のインテリア職能団体と比較すると歴史は浅いですが、それでも30年間にわたる様々な状況を乗り越え、今日まで協会の発展に尽力された多くの皆様に心から感謝申し上げます。

1987年創設のインテリアプランナー（以下IP）は、インテリアの計画に関わる幅広い知識と技能をもち、インテリアをトータルに設計・監理できるプロフェッショナルを証明する資格で、2023年度は全国で142名のIP試験合格者が誕生しました。

コロナ禍も明けた昨年度は、対面で行われた数多くの企画を通して会員同士の交流を深めました。IP受験セミナーは一層充実したプログラムにより非常に高い合格率を達成しました。またJIPAでは全国の地域IP協会とzoomで連携し、「IPの社会的地位向上を目指した勉強会」が発足し、IPアワード2023などが行われました。インテリア関連団体連携プロジェクトIDM (Interior Design Meeting) ではシンポジウム「ここから一世界の住宅リモデリング事情」やJAPAN SHOP 2024 IDMブースを企画・運営し、懇親会The Nightを盛況に開催しました。

今年度は特にインテリアプランナーを目指す若い方々が積極的に活躍できる多様な活動を目指します。引き続き会員の皆様のご理解とご協力、積極的なご提言をお願いします。

[さとう つとむ・駒沢女子大学人間総合学群住空間デザイン学類]

活動報告 2023/04 - 2024/03

- 第29回通常総会+講演会 会場:日本青年館ホテル
講演会:「空間デザインのプロセス」(丹羽浩之氏・ヴォイド代表)
2023年5月29日(月)開催 総会66名・交流会81名参加
- インテリアプランナー試験受験対策セミナー 受講生38名
施設見学会:2023年8月 講座:2023年9月~11月開催
- Salon de IP 2023 Vol.2 2023年10月4日(水) 44名参加
Salon de IP 2024 Vol.1 2024年3月18日(月) 38名+オンライン18名参加
- 法人会員の会 全体報告会
2023年6月19日(月)開催
- 法人会員の会「秋の宴2023」
2023年10月25日(水) 会場:イルカルディナーレ(銀座)
- プランナートーク NO.10 2023年 5月29日(月) 46名参加
プランナートーク NO.11 2023年 11月22日(水) 28名参加
プランナートーク NO.12 2024年 2月15日(木) 25名参加
- 新年交流会 2024年1月26日(金) 88名参加
会場:SHARI THE TOKYO SUSHI BAR(銀座)

JIPAT HISTORY 30年の歩み

前編：中川 誠一【JIPAT第2代会長】

インテリアプランナー制度発足から、 東京インテリアプランナー協会設立、 現在までの歴史

そもそもインテリアプランナーって 何？

「インテリアの企画・設計・工事監理を行う専門家で、国土交通省所管の公益財団法人 建築技術教育普及センターが認定するインテリアプランナー資格者のことです」

インテリアプランナーとは、

インテリア設計等に関し、建築士の業務と共通部分を持ちつつ、専門的、高度な、または独自の知識、技能を有する者として、試験・登録・更新講習制度により、その能力を審査・証明されたプロフェッショナルである。

インテリアプランナー資格制度発足

この制度発足に尽力された小原二郎先生が語った制度発足までの記録によると、「インテリアコーディネーターは1983年(昭和58年)に誕生した。コーディネーターは住宅を対象にした物品流通の専門家として認められた資格であった。しかし、インテリアは住宅だけではない。公共建築や商業建築にはもっと大きくて重要なインテリア空間がある。それらを対象に設計する人材を育成する必要があるという理由で当時の建設省はプランナー制度を発足させるための委員会を設けた。しかし、建築設計士の団体から建築士という国家認定の資格を持つ人達が大勢いるのに、今更インテリアの専門家を育成する必要はなく、建築士の権益を侵すものだという趣旨の反対にあった」その後2年くらいの折衝の結果、プランナー制度が1987年(昭和62年)建築士に次ぐ資格としてスタートした。スタートから4年後には約20,000名のインテリアプランナーが誕生した。

JIPAT/東京インテリアプランナー協会が設立

1991年IP制度活性化研究会が発足し、1995年にかけて、全国各地でインテリアプランナー協会が誕生し、1994年10月にインテリアプランナー協会設立発起人会が開催され、協会名の決定、定款案の作成、組織・事業計画等の検討が協議され、翌1995年2月に「東京インテリアプランナー協会」が設立された。

その設立趣意書には

1. インテリアプランニングに関する業務の確立とその振興
 2. インテリア関連技術者の技術の向上
 3. 資格者の活用によるインテリア知識の普及とその振興
- の3点があげられ、

「インテリアプランナーは、より広範囲な知識の取得と専門的な技術の向上に努め、社会からの信頼をより大きなものとし、自らの社会的な地位を確立していく必要がある。そこで専門家の能力を結集出来る組織として、資格者による団体をつくり、活動・研鑽の場を広げるとともに、会員相互の親睦と交流、内外諸機関との交流等を通じ、社会と文化の発展に寄与することを目的として、ここに「東京インテリアプランナー協会」を設立する」とある。



JIPA/日本インテリプランナー協会が設立

1998年全国10協会が集まり、全国組織として「日本インテリアプランナー協会協議会」が設立され、2009年法人の制度改革により「一般社団法人日本インテリアプランナー協会」と改称された。その設立宣言では「私たち、インテリアプランナーは、すべての人が健康で安全に暮らせる快適なインテリア空間の創造をめざして、インテリアから地球環境に至る学術・技術・芸術の深耕につとめ、

広く社会に貢献することを宣言します」というものであった。一般的に協会は“親”である全国組織の協会が出来て、“子”である各地域の協会が生まれるのが普通であるがJIPAは逆で、地域に根差し、地域社会に貢献していくことをベースに運営しようとするものであった。



AIP/アソシエイト・インテリアプランナーが誕生

時は経って、2016年からは新たな称号「アソシエイト・インテリアプランナー」が設けられた。インテリアプランナーになる前段階の称号として、年齢制限や実務経験も不要で誰でも受験でき、若い人々や広くインテリアに興味がある人々の取得を目指し、これを足掛かりにインテリアプランナーを目指す人々が増え、インテリア設計等への関心が高まって行くことを目指している。



JIPATは様々な活動・事業を行ってきた

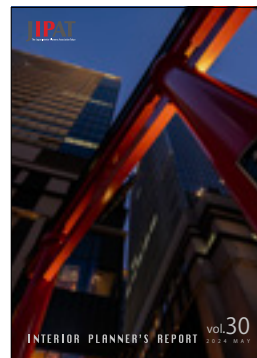
1995年設立後多くの委員会を立ち上げ、活動がスタートした。

JIPAT JOURNAL 創刊号が発行

JIPAT設立の1995年から機関誌“JIPAT JOURNAL”（現在はINTERIOR PLANNER'S REPORT）が発行され、1年間の各委員会活動報告、セミナーなどの紹介や特集記事を掲載し、会員への情報発信ツールとして年1回発行され、今年2024年に30周年記念号が発行された。



創刊号の表紙



30周年記念号の表紙

会員交流フォーラム

会員相互の理解を深め、情報交換や討論の場をつくるために会員交流フォーラムを開催し、「IP-TALKの会」や「賛助会員インフォメーションの会」を通して会員のインテリアへの取り組みとその展望、インテリアと環境、海外のデザイナーとのコラボレーション、住宅のインテリアを考える、更に安全なインテリア空間、などのテーマをシリーズ化して開催した。



全国IP協会との交流

各地域協会との交流が始まった。1996年の新潟IP協会（現在は解散）との交流を皮切りに北海道、北陸、中部、関西、中国IP協会などとの交流を重ね、会員相互の親交を深めると同時に歴史的な建造物や新しいインテリアの見学などを行った。



“旅にこうよJIPAT“

JIPAT ツアー in 会津では宿場町大内村を訪れ、会津の歴史研究をしていた会員の案内で、江戸時代から続く茅葺屋根の家々が連なった美しい町並みを見学した。



JIPAT ツアー in 銀山では山形で月山の麓にある山菜料理の「出羽屋」で昼食をとり、尾花沢にある古くから銀の鉱山として栄えた銀山温泉へ。大正ロマンの郷愁を感じるノスタルジックな町並みの情緒豊かな風情を心に刻んだ。



JIPAT で企画・編集し出版した書籍など

「インテリアプランニング・ドキュメント」 監修・編集

当時インテリアの完成写真集などの書籍はたくさんあったが、そのプロセスを紹介するものはなかった。そこで、“構想から空間へ”と題し、インテリアプランニングされた“優れたインテリア”の紹介をし、それがどのようにプランニングされ空間として完成されたのかを、分かりやすくまとめた書籍をJIPATで編集委員会を立ち上げ、監修・編集して1999年に出版された。



「インテリアプランナーの世界」執筆

インテリアプランナーってどんなことをやる人?という質問をJIPAT法人会員である日刊建設工業新聞社の記者から問われ、インテリアプランナーの職能を広く理解してもらうため、IPの業務内容、範囲、建築との関わりなどをジャンル別に紹介し、作品の紹介だけでなくIPの職能を広く理解するための記事を連載することになった。1997年～1998年の2年間で23回にわたりインテリアプランナーが執筆し、日刊建設工業新聞に連載された。

東京インテリアプランナー協会が主催する 「インテリアプランナーの世界」			■「インテリアプランナーの世界」日刊建設工業新聞連載	
1.インテリアプランナー-総論(上)	東山正志	2.インテリアプランナー-総論(下)	角嶋基	
3.文化・観覧(上)	永池雅人	4.文化・観覧(下)	下田清二郎	
5.オフィス(上)	岩澤昭彦	6.オフィス(下)	李泰久	
7.ホテル(上)	古野敬一	8.ホテル(下)	中川誠一	
9.住宅(上)	川村真一	10.住宅(下)	岡部夢子	
11.商業施設(上)	若林康	12.商業施設(下)	堀川正昭	
13.教育施設	藤村盛造			
14.アーバンインテリア(上)	関口正巳	15.アーバンインテリア(下)	奥澤一	
16.医療・福祉施設	丹藤翠	17.医療・福祉施設	山本様子	
18.娯楽・保養施設	三輪正弘	19.娯楽・保養施設	竹下淳一	
20.スポーツレクリエーション施設	稲垣雅夫	21.スポーツレクリエーション施設	志村美治	
22.インテリア教育	加藤力	23.インテリア教育	光藤俊夫	

「EFFECT」(効果) 編集・出版

スペースプランニングはある効果EFFECTを期待している、それを、はじまる・はずむ・たかぶる・とける・こもる・しめる,の6つのキーワードで纏めたビジュアルブックを編集し出版した。



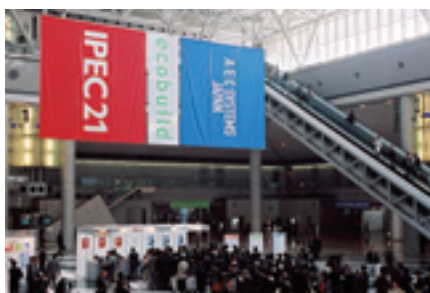
JIPAの活動・事業に協力

主にJIPAT が中心となり活動してきた。

「IPEC21」(INTERIOR PRO EXCO 21) 始まる

INTERIOR EXHIBITION & CONFERENCE for PROFESSIONALS

インテリアのプロが結束し“健康な環境へ”をテーマにインテリアのプロと企業が人間とその社会に貢献できる良い関係をつくり、21世紀へのインテリア・ビジョンを打ち出し、これからの生活環境をリードしていく質の高い提案の場をつくるエキジビション・カンファレンス「IPEC21」を、職能団体であるJIPAが2001年から主催し開催した。2001年～2010年まで10回、毎年TOKYO BIGサイトで開催し、2007年より21を取り「IPEC」と改称し、更に2012年～2016年までは会場を工学院大学に移し継続してきた。



DESIGNERS SHOWCASE

2003年からは企業展示だけではなく、インテリアを中心として様々な分野で活躍している、デザイナーの提案やアイデアをインテリア関連企業とのコラボレーションにより展示・発表する場として「DESIGNERS SHOWCASE」の展示を開始した。



「IPEC21」PARIS へ行く

2004年～2006年までの3年間、パリで開催された「SALON DU MEUBLE DE PARIS」に「DESIGNERS SHOWCASE」を出展した。2004年には2003年の「IPEC21」で出品された優秀作品を展示。2005年には優秀作品と隈研吾氏の招待作品も展示し、2006年には「NIPPON DESIGN PAVILION」という名でグエナエル・ニコラ氏がプロデュースしたブースにも参加した。





「インテリアプランニング アワード」と 「インテリア・ベストセレクション」を創設・開始

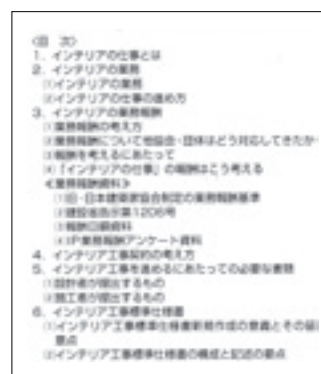
優れたインテリア作品を審査し表彰する「インテリアプランニング アワード」を2010年から隔年で実施した。これは（公財）建築技術教育普及センターが主催していた「インテリアプランナー賞」を引き継ぐ形で実施した。優れたインテリアを実現するために、インテリアプランナーは重要な役割を担っているが「インテリアプランニングアワード」では、デザイン性はもとより、環境への配慮、そして公共性・安全性について、また空間構成や室内環境の計画などを審査した。さらに厳正な審査により選ばれて入賞、入選した作品を「インテリアプランニング・ベストセレクション」という作品集に収録・編集し出版した。この成果は、良質なインテリアを評価し一般公開することで、インテリアプランナーの仕事を社会に広めることにつながっている。



JIPATが協力し出版したJIPAの書籍

「インテリアの仕事」企画・編集・出版

インテリアの業務、業務報酬、工事契約の考え方、そして、インテリア工事標準仕様書などについてまとめている。



「インテリアプランナー ガイドブック」の 編集協力

2016年に（公財）建築技術教育普及センターからの依頼で、インテリアプランナー受験を目指す人のための学習参考書である「インテリアプランナー ガイドブック」学科試験編及び設計製図試験編の編集協力を行った。2019年発行された改訂版はJIPA がすべてを編集協力した。



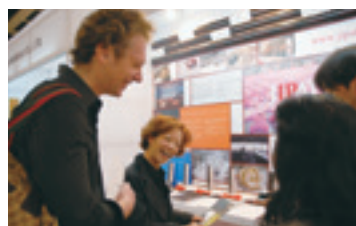
[ながかわ せいいち・プラス・エヌ・プロデュース代表]

JIPAT HISTORY 30年の歩み

後編：佐藤 勉【JIPAT第6代会長】

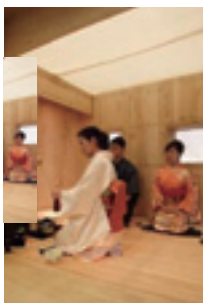
若手活動体JIPAT I's の結成と活動

2004年、若手プランナーの活動体「JIPAT-I's（アイズ）」がJIPAT10周年記念総会にて結成が発表された。メンバーでコンペを行いロゴデザインを決め、JIPAT会員のインテリア作品見学会、企業ショールーム訪問、懇親会などを行って交流を深め、IPEC21-2004に2つのブースを企画・展示した。ケベック州政府日本事務所協賛によるメープル無垢材の茶室「chame」はDESIGNERS SHOWCASE 大賞に選ばれた。翌年の国際家具見本市ムーブル・ド・パリ2005に出展し、I'sメンバーも渡仏して現地で茶会を催した。



香港「IDTExpo Business of Design Week 2010」
JIPAT ブース

2012年から2014年にかけて、シンガポールのMarina Bay Sands EXPO & Convention Center で開催された展示会「100% Design Singapore」にJIPATブースを毎年出展した。法人会員企業も複数参加し、インテリアプランナーの社会的貢献や活動等を紹介した。これからのアジアのデザイン界を牽引する役割を担う足掛かりとなるよう、ASEAN各国のインテリア関連協会との交流や情報交換を行った。



JIPAT-I's ロゴデザイン採用案／
ムーブル・ド・パリ2005「chame」茶会／I's メンバー

海外の展示会への出展や 海外インテリアデザイナーとの交流

2010～2013年頃にかけて、アジア諸国で開催されたデザイン展示会へJIPAT ブースを出展した。

「香港IDTExpo Business of Design Week 2010」ではインテリアプランナー資格のアジア諸国への紹介を目的に（公財）建築技術教育普及センターの助成金を受けて出展した。来場者数は3日間で4万人を超え、ジャパンデザインの注目の高さを感じた。IP資格制度に関心を持つ香港インテリアデザイン協会のPan会長や役員の方々とは後日、来日時に再会し、ランチミーティングで意見交換の機会を設けた。

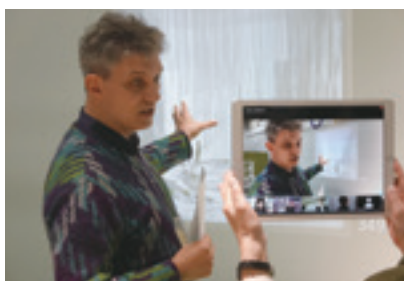


「100% Design Singapore」JIPAT ブース2012／
Marina Bay Sands／JIPAT ブース2013

インテリアプランニングコンペの開催

IPEC2014 で行われたプレイベント「IP20/20」を経て、（公財）建築技術教育普及センターの協賛を得て、インテリアプランニングコンペを2016年、2018年、2020年の

計3回開催した。審査員にマニユエル・タルディッツ氏他を迎え、審査員特別賞、建築技術教育普及センター理事長賞、JIPA会長賞の他に、日本インテリア学会・JID・JCD・JAFICAの理事長賞・会長賞を設けた。応募作品数は115件→237件→427件と回を重ねるごとに増加し、北海道から沖縄まで、高校生から専門学校生、大学生、社会人、主婦の方まで幅広く応募があり、展示会や作品プレゼンテーション、授賞式を行って交流をはかった。



インテリアプランニングコンペ2016 応募要項/2018 展示会場/2020 オンライン審査

学生・新入会員の応援企画

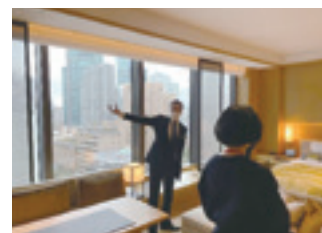
学生や新入会員へ向けてインテリアプランナーの仕事を紹介し、IP資格の取得をアピールした。学生応援イベント「WELCOME TO OUR SHOWROOM 2016」では3か月ほどの期間中に会員企業ショールームを公開し、学生会員限定企画「設計事務所の仕事を知ろう2017」では実際にインテリア設計事務所のオフィスを公開した。2019年度に2回開催の「ウェルカムパーティ ～新入会員にJIPATを知ってもらおう!～」では、法人会員のショールームを借り、協会の委員会活動や多彩なイベントを紹介し、交流した。

プランナートーク・インテリア見学会

JIPAT 創立時より続けていた「IP-TALK の会」を引き継ぐ形で2016年に「プランナートーク」が始まった。毎回テーマを決め、異なる企業でインテリアの仕事に関わる若手クリエイターが集い、熱く語り合うイベントとなった。またIPアワード受賞作品をはじめとする話題のインテリア見学会では、「シェアリーフ西船橋グレイスノート」「レム六本木」「京橋エドグラン」「MUJI HOTEL GINZA」「The Okura Tokyo」「ウェスティンホテル横浜」など、毎回多くの参加者を得て盛況に開催された。



インテリア見学会「The Okura Tokyo」



JIPA 全国大会2018 in TOKYO の開催

2018年12月1日(土)・2日(日)の2日間、全国のIP地域協会が集うJIPA 全国大会がJIPAT主催で開催された。オリンピック、パラリンピックの開催を目前とした「変貌する東京」をテーマに、新たな視点から東京の今を巡り、これからのデザインを考える企画とした。1日目はアイビーホール(青学会館)における開会式の後、スパイラル(東京青山)で同時開催されたIDM TOKYO 2018の展示や各種プログラムに参加した。2日目は、「水上から見る東京」と「陸上から見る東京」の2つのコースを用意した。ツアー終了後は浅草にて全国のIP会員が集い、落語鑑賞会やランチ交流会を行った。



JIPA 全国大会2018 in TOKYO パンフレット/ランチ交流会の様子

サロン・ド・IP セミナー

国際的な話題や情報を提供するトークサロン。主な内容は「日米合作映画『レオニー』松井監督講演会」「世界の建築とデザインを紹介する(北欧編、米国編)」「日本に魅了されたデンマーク人デザイナー」「デンマーク視察旅行報告会3daysofdesign 報告」「MUJI HOTEL 北京からMUJI HOTEL 銀座とアフターストーリー」などで、講演会終了後には懇親会の場が設けられ、登壇者を囲んで参加者と交流した。



「日米合作映画『レオニー』松井監督講演会」
「日本に魅了されたデンマーク人デザイナー」

コロナ禍の緊急事態宣言に伴う協会活動の自粛と事務局閉鎖

新型コロナウイルス感染症の蔓延による緊急事態宣言が発令されたことに伴い、協会の活動については、会員の健康を守ることを最優先として、会議、打合せ等の延期・中止、事業・会合等の自粛を行なった。また事務局員の安全面に配慮し、緊急事態宣言期間中は事務局を閉鎖し、在宅勤務での対応とした。2020年5月の評議員会（社員総会）および通常総会（会員総会）は多くの人が集まることを避け、郵送及び電磁的方法にて役員選挙及び議案に関する議決を行った。2021年の新年交流会はやむなく中止したが、2022年はオンラインによる新年交流会を2月25日に開催し、参加者は事前に宅配された食事と飲み物のセットを前に、画面越しに新年を祝うことができた。



[オンライン新年交流会2022 案内／オンライン新年交流会の様子]

サロン・ド・IP オンラインセミナー

コロナ禍による試行錯誤の末に「サロン・ド・IP」はオンラインセミナーに切り替え、Peatix による集客システムを導入してビジターの参加者にも広く告知集客した。主に国際的な商材を取り扱う会員が登壇者となり、その国の文化やお国柄と企業文化や製品づくりの関係に触れるなど、国際性豊かな話題を提供した。回によっては海外からの登壇者を交えるなど、オンライン方式ならではの工夫を凝らした。



サロン・ド・IP オンラインセミナーVol.1の様子

JIPAT 公式SNS(YouTube, Instagram, Twitter)の開設

2021年YouTubeチャンネルを開設し、動画配信を開始した。インテリアスペシャリストインタビューはライブ配信を行い、その様子をアーカイブとして随時追加した。また同じくInstagram「jipatokyo」やTwitter（現X）「@JIPATofficial」で積極的に情報発信を行っている。



JIPAT 公式YouTube／JIPAT 公式Instagram 画面

IP受験セミナーの活動

IP設計製図試験のための受験対策セミナー。毎年変わる課題に沿って試験対策問題を検討し、パース講座、設計製図講座を実施している。現在は参考施設見学会、直前対策講座やフォローアップセミナーなども追加し、多くの受講生を合格に導いている。コロナ禍ではほとんどの協会事業が中止となる中、感染予防対策に万全を期した対面開催を実施した。IP学科試験の対策講座など、他の地域協会と連携した企画も進行中。



IP受験セミナー2023の様子

法人会員の会による活発な活動

インテリアプランナーの日々の仕事を支える企業による法人会員の会も、活発な協会活動を展開している。法人会員の会主催による全体会議・懇親会、納涼会や忘年会などの交流会、コミュニケーションの会やラウンドテーブルトークなどの情報交換会など、多彩な企画やイベントを通して、同業種・異業種の会員相互の積極的な交流が図られ、協会活動の大きな一翼を担っている。

協会名称の変更

全国の地域IP協会と連携・協議し、各地域協会の名称を「日本インテリアプランナー協会 ○○（地域名）」に統一することで、インテリアプランナーおよび協会の認知度向上を促し、会員増強および協会全体の結束と魅力向上につなげることを目指した。その結果2023年に名称を「一般社団法人日本インテリアプランナー協会 東京」に変更した。英語名称「Japan Interior Planner's Association, Tokyo」と略称「JIPAT」はそのまま継続することとなった。

[さとう つとむ・駒沢女子大学人間総合学群住空間デザイン学類長]

JIPAT HISTORY 30年の歩み 年表

西 暦		元 号		歴代会長		主な出来事	
1983		昭和 58 年		<div>初代会長 三輪 正弘 氏</div> 		インテリアコーディネーター制度発足	
1987		昭和 62 年				インテリアプランナー資格制度発足	
1991		平成 3 年				IP 制度活性化研究会発足	
1992		平成 4 年				全国各地でインテリアプランナー協会設立	
1994		平成 6 年				インテリアプランナー協会設立発起人会開催	
1995		平成 7 年		東京インテリアプランナー協会設立 (1995 年 2 月 4 日)			
1996		平成 8 年		「賛助会員の会」発足			
1997		平成 9 年		日刊建設工業新聞にて『インテリアプランナーの世界』連載スタート (計 23 回)			
1998		平成 10 年		日本インテリアプランナー協会協議会設立			
1999		平成 11 年		【インテリアプランニング・ドキュメント】発刊			
2000		平成 12 年		<div>第 2 代会長 中川 誠一 氏</div> 			
2001		平成 13 年					
2004		平成 16 年					
2005		平成 17 年					
2006		平成 18 年					
2007		平成 19 年		<div>第 3 代会長 浦 一也 氏</div> 			
2008		平成 20 年					
2009		平成 21 年					
2010		平成 22 年					
2011		平成 23 年					
2014		平成 26 年		<div>第 4 代会長 志村 美治 氏</div> 			
2014		平成 26 年					
2016		平成 28 年					
2018		平成 30 年					
2019		令和 元年					
2020		令和 2 年		<div>第 5 代会長 寺本 昌志 氏</div> 			
2021		令和 3 年					
2022		令和 4 年					
2023		令和 5 年					
2024		令和 6 年					
2024		令和 6 年		JIPAT 設立 20 周年			
				一般社団法人東京インテリアプランナー協会として登録			
				「インテリアプランニングコンペ」開催 AIP/ アソシエイトインテリアプランナー制度スタート 【インテリアプランナーガイドブック】編集			
				IDM TOKYO 2018 開催 JIPA 全国大会 in TOKYO 開催 【インテリアプランナーガイドブック】改訂版 編纂			
				第 26 回 通常総会 コロナ禍により書面による議決を実施			
				「YouTube」チャンネル開設・「Instagram」開設・「Twitter(現 X)」開設 インテリアスペシャリストインタビュー配信			
				オンラインによる新年交流会開催			
				一般社団法人日本インテリアプランナー協会 東京に改称			
				JIPAT 設立 30 周年			

各種手続き 変更の際は、手続きを忘れずに

- (1) 会員種別
- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 正会員 | インテリアプランナー登録者 |
| AIP会員 | アソシエイト・インテリアプランナー資格登録者 |
| 一般会員 | 会の目的に賛同する個人 |
| 法人会員 | 会の目的に賛同する企業・団体 |
| 学生会員 | インテリアプランナー資格取得を目指す学生 |
| 特別会員 | 当協会の発展に貢献してくれる個人又は団体 |
| 名誉会員 | 会に対する功労者、またはインテリアプランナー制度に貢献があった個人 |
- (2) 変更届
登録事項に変更があった場合は、必ず変更届をお出ください。
変更届はJIPATのホームページよりダウンロードできます。
JIPATのホームページ <http://www.jipat.gr.jp/>
必要事項を記入し、メールかFAXで事務局までご送付ください。
- (3) その他各種問い合わせ先
- ① JIPAT 会員へのメール配信やホームページへの掲載希望は、事務局にご連絡ください。
*メール配信やホームページへの掲載は内容によってはお断りする場合があります。
 - ② 委員会への入会、サポートメンバー登録
委員会に入りたい方、サポートメンバーになりたい方は、メールにて事務局へご連絡ください。
- [JIPAT 事務局]
TEL : 03-3446-8860 FAX : 03-3446-1417 MAIL : office@jipat.gr.jp

会員の特典及びサービス

■会員特典

- ・会員証が交付されます。
- ・各委員会活動、各事業に参加でき、様々な人との交流が図れます。
- ・会が催す見学会等の各種イベントに会員価格にて参加できます。
- ・文芸美術保険組合への加入資格が得られます。
- ・会誌などの無料配布を受けられます。
- ・会員名簿 (HP上) の閲覧ができます。
- ・ウェブサイト上で会員専用の情報を得ることができます。
- ・会員証の提示により法人会員登録企業からの特典が受けられます。(内容は各企業による)
- ・法人会員主催の各種特別セミナー・見学会等に参加できます。
- ・各種文具店等の割引を受けられます。

[文芸美術国民健康保険]

会社等の法人に所属していない個人で、インテリアデザイン関連の仕事をしている方は、当保険に加入することができます。

*保険組合の審査によっては不可となる場合がございます。

編集後記

「Interior Planner's Report 30」の発刊にあたり、発刊にご尽力いただいた方々にこの場をお借りして心から御礼申し上げます。

昨年秋ごろから、30周年の節目を迎える記念号の企画を始めました。まず6年間の長きにわたって会長を務めてこられた中川誠一氏にお話を持ち込みました。幸いなことに中川氏は、JIPAT発足からつい最近までのJIPAT およびJIPA に関する資料を余すことなく自宅で保管されており、加えていまだに明晰な記憶力をお持ちの氏の個人的な能力も相まって、「JIPAT HISTORY 30年の歩み」(前編)を一気に書き上げていただきました。

また、30年間の出来事をまとめた年表を更新するにあたって、氏が全号の年会誌を大事に保管していたおかげで、JIPAT事務局で欠番になっていた3年分の年会誌(JOURNAL誌)を補完することが出来、より正確に年表をまとめることができました。

今回の特集記事「JIPAT HISTORY 30年の歩み」は、前半を中川誠一氏、そして後半を現会長佐藤勉氏にそれぞれ執筆していただきました。編集会議では、お二人はもちろん、編集委員も加わって、それぞれの記憶をすり合わせながら、正確な記述になるように努めました。

30年の歩みを振り返る大切な機会になることはもちろん、今後JIPATあゆみの礎として役立つことを願っています。

編集長 佐藤 勝
編集委員 戸矢崎 弘美・荒井 資郎・岡田 高文・下田 濟二郎
新中 健史・東海林 吾一・露木 卓一・福山 亮介

Interior Planner's Report Vol.30

発行日 2024年5月27日
発行者 一般社団法人 日本インテリアプランナー協会 東京
会長 佐藤 勉
編集 一般社団法人 日本インテリアプランナー協会 東京
総務委員会

(表紙の写真)

タイトル: 「LOOKING UP」

撮影者: 中川 栄治 (JIPAT 一般会員) / Yeiji Zakagawa (フォトグラファー名)

撮影日時: 2024 年2月 (東京・中央区)

撮影者のコメント:

私はいま、伝統と革新をテーマに発展・成長を続ける東京の魅力を撮り歩いています。30周年記念号の表紙として、JIPAT が歩む「これから」にふさわしい超高層建築と鳥居の共存を、3次元透視図的なアングルで切り撮ってみました。

撮影者の主な活動歴:

2020 年11 月 Leica LFI Gallery, フォトグラファーYeiji Zakagawa でギャラリーファイルに入る
<https://lfi-online.de/en/gallery/search.html?s=yeyji%20zakagawa>

2021 年12 月 表参道 ギャラリー412 にて二人展開催

2022 年 8 月 「様変わりする東京湾岸の風景・船・人」をテーマに1年間撮影
シンフォニー・モデルナ就航30年記念として船内展示